

令和 6 年度海外研修（台湾）研修報告

健康福祉学部 4 年 鈴木芙夕実

経済経営学部 2 年 片寄翔太

2024 年 8 月 15 日から 29 日までの約 2 週間の滞在期間の間、30 時間の語学講義を受講しながら、台湾独自の文化を体験し、また台湾のお寺や博物館、夜市など、様々な観光地を巡ってまいりました。

開南大学は台湾の首都である台北から電車で約 1 時間の距離にある桃園市という地域に位置しています。ちょうど桃園国際空港から車で 30 分ほどの距離です。研修が行われた期間はちょうど開南大学も夏休み期間でしたので、キャンパス内はとても静かでした。大学の周りには小さな飲食店や住宅街がぼつぼつと立ち並んでいて、街全体としても、繁華街というよりは、落ち着いた、のどかな町という印象でした。

今回の研修には開南大学の姉妹校から本学を含めて計 57 名の参加者が日本全国から来ておりました。参加者はそれぞれ少人数の班に分かれ、その班ごとに開南大学で日本語を学ぶ学生さんたちがチューターとして常にサポートに付いてくださり、授業で分からないことがあれば質問したり、自由行動の時間には学生各々が行きたい観光地までの引率を担当してくださったり、また今回全員開南大学の学生寮に宿泊しましたので、昼夜問わずチューターの方々にサポートしていただきました。

私たち 2 名は台湾を訪れるのは初めてで、学校生活や文化について馴染めるかどうか不安と緊張を抱いていました。しかし、街ゆく人や先生方、チューターの方も含め、優しくそして愉快であり心温かい方たちばかりでしたので、私たちもすぐに台湾という国、台湾の方々が大好きになりました。

台湾に到着した次の日、早速午前中には開会式と歓迎会を開いていただきました。歓迎会では、台湾のスイーツや餃子などをおいしく頂きながら、台湾のチューターの方々、他に参加している日本人学生との交流の場を設けていただきました。その日の午後から早速中国語・英語のクラスにそれぞれ分かれて、授業がスタートしました。

今回は中国語の初級クラス、中級クラス、上級クラス、英語の上級クラスの計 4 クラスに分かれて授業が行われました。

私たちは中国語初級クラスで中国語の基礎である母音や子音の発音や 4 つのイントネーションである四声から教えて頂きました。担任の先生は、とても明るく、一人ひとりの発

音を細かくチェックしてくださり、丁寧に教えていただき、さらに発音当てゲームなどのミニゲームの時間もあったので、初めての中国語で不安を感じていた気持ちが先生のおかげで和らぎ、最後まで楽しく学ぶことが出来ました。

また、教材を用意して頂き、自己紹介や基本的な日常会話まで細かく分かりやすく書かれていたり、時には中国語の歌を歌ったりダンスを踊ったりと、全身を動かしながら中国語を学ぶこともありました。

このような授業形態をとっていただいたことで、私達も他の日本人学生やチューターの方とコミュニケーションを取りながら授業に参加できたことは非常に楽しく、そして良い学びとなり、これから先も中国語を学んでいきたいという意識の向上にも繋がりました。

最終成果発表では、全体で10グループに別れ、それぞれ中国語や英語での歌やダンス、劇が披露されました。私たちは同じグループになり、他の日本人学生3名と合わせて5名で成果発表会に臨みました。グループ名は「五個忍者」(ウーガレンジャー)として当日に向けて皆それぞれメンバーカラーを設定し、それに合わせて服を選び、飾り付けを事前を作り、ダンスや発音練習をチューターの方や先生方と話し合いながら練習しました。そして様々な方のサポートもあり、発表会ではなんと1位に輝くことができ、記念品も頂きました！

最後には担任の先生から一人ひとりへメッセージをいただき、写真撮影をして最後の最後まで楽しく過ごす事ができました。このような経験ができたことを非常に嬉しく思います。

次に文化体験・観光について簡単に報告いたします。文化体験として、3つのバリエーション豊かな文化を体験してきました。

まず一つ目に、台北で縁結びにゆかりのあるお寺を訪れ、参拝・祈願の体験をして来ました。このお寺は100年以上の歴史があり、月下老人など600を超える神様が祀られています。各自、神様への専用のお供え物と線香を手を持ち、自己紹介をひと通り済ませてから、詳しく具体的な願い事を一生懸命唱えました。

その後、台湾で一つのランドマークとされている中正紀念堂を訪れました。中正紀念堂では、中華民国初代総統、蒋介石の銅像がある本堂を中心に見学しました。その際、衛兵交代を見学することができました。複雑な動きでもびったり揃っている行進に圧倒されました。どちらの建物も、細かい模様が施されていたり均等に積み重ねられていたり、その技術に目を奪われました。

2つ目に、台湾でのお茶の博物館や故宮博物館を訪れ、中国の歴史について学んできました。初めに桃園市内にある、お茶の博物館を訪れ、台湾各地で採れる茶葉の種類や歴史

に関する説明などを受けました。特に、ウンカと呼ばれる虫にかじられた葉っぱから取れるお茶はおいしくなるという説明が興味深く印象に残っています。その後は、三種類の茶葉をそれぞれ好きな茶葉とブレンドさせてオリジナルのティーバッグ作り体験をしました。さらに博物館内のお茶も味わったり、実際に作る様子が展示されていたりと台湾のお茶文化に触れることができる良いアクティビティでした。

台北の国立故宮博物院も訪れ、様々な展示を見て回りました。故宮博物院で最も有名と言われている翡翠の自然の色味を生かして作り上げられた「翠玉白菜」の子孫繁栄を願ったと言われるキリギリスとイナゴの2種類の虫の装飾もじっくり観察することができました。そのほかにも世界三大美女の楊貴妃の石像や、縁起の良いとされる龍が施された陶器などの展示物を見たり聞いたりして回れたので滅多にない経験をすることができました。

3つ目に、台湾の食文化として、パイナップルケーキ、ネギ餅、バナナケーキ作りを体験させて頂きました。パイナップルケーキ作り体験では、台北に行きました。生地の中にパイナップル餡を詰め、専用の型にはめて、型を机に叩きつけて形を整える体験をしました。焼き上がる間に、パイナップルケーキの歴史の説明や、台湾の一歳のお祝いに行われ、赤ちゃんが選んだものによって将来を占う「抓周」や、輪投げなどのアクティビティに参加しました。最後に出来上がったパイナップルケーキを食べたのですが、パイナップルのほんのりとした酸味と、周りのしっとりとした生地が合っていて、美味しかったです。

ネギ餅とバナナケーキ作りは、開南大学内の調理室で行われました。日本人学生5~6名とチューターの方がひとつの班になり、調理師の方の説明をはじめに聞き、グループで協力して作りました。自分たちで作ったので達成感も感じつつ、台湾の伝統的な食べ物の味や作り方を学ぶことが出来ました。

大学全体での1日観光日には、十分と九份と呼ばれる町を訪れました。十分では、大きなランタンに願い事を書いて空に飛ばすのが有名で、町の真ん中を走る観光鉄道の線路の上から、願いごとを書いたランタンに気持ちを込めて飛ばしました。ランタンの色ごとにも、願いがあり、赤には、健康や安全の願いが込められています。九份では、金鉱として栄えていたこともあり、斜面に沢山の屋台や雑貨店などが立ち並ぶ台湾ならではの風景を見ることが出来ました。

またその他にも、台北101と呼ばれるランドマークタワーへ行き、101階建ての展望エリアに上って台北市内を一望しました。実際に高い建物がびっしりと密集している様子や山々に囲まれている風景など、台湾の風土を感じることが出来ました。お昼には台北市内の小籠包専門店ですべてを頂きました。六種類ほどの小籠包やチャーハンなどを食べると、

どれもおいしく感動しました。

語学講座、観光、文化体験が二週間みっちり詰まっっていて、期間としては短い研修ではありましたが、私たちにとって多くの刺激を与えてくれ、台湾について学びを深めることができ、非常に濃密な時間を過ごせました。

帰りの飛行機では台風の影響で、欠航になる便も多かったのですが、幸いに私たちの便には影響がなく、無事日本に帰国することが出来ました。

台湾の学生の方々や日本各地から集まった学生の方々と台湾で同じ時を過ごせたことは、かけがえのない経験となりました。これからもその縁を大切に、自分達の糧として頑張ったいと思います。

そして今後も、挑戦する気持ちを忘れず、多くの体験をして刺激を受け、成長していきたいと思います。最後になりますが、今回の海外研修実施にあたりまして、サポートいただきました全ての皆様に改めまして感謝申し上げます。ありがとうございました。